

平成 28 年（2016 年）熊本県熊本地方 を震源とする地震について

平成28年（2016年）熊本県熊本地方を震源とする地震について

総務部危機管理局

1 地震の状況

(1) 発生日時 平成28年4月14日（木）21時26分頃

- ・ 震源の深さ 11km（暫定値）
- ・ 規模 マグニチュード6.5（推定値）
- ・ 震度 最大震度7（熊本県益城町）
震度5弱（宮崎県椎葉村）

(2) 発生日時 平成28年4月16日（土）1時25分頃

- ・ 震源の深さ 12km（暫定値）
- ・ 規模 マグニチュード7.3（暫定値）
- ・ 震度 最大震度6強（熊本県南阿蘇村、熊本市等）
震度5強（宮崎県椎葉村、高千穂町、美郷町）

2 九州各県の被害状況

(4月19日 16:30作成時点)

県名	人的被害				住家被害			非住家被害棟	避難者数人
	死者人	行方不明人	負傷者		全壊棟	半壊棟	一部破損棟		
			重傷人	軽傷人					
熊本県	45	8	208	875	1,174	1,305	924	121	95,052
大分県			4	22		3	23	15	760
福岡県			1	13			224	1	34
佐賀県			3	4			1	2	627
長崎県									6
鹿児島県									
宮崎県			3	5		1	13		
宮崎市			2	1					
都城市				1					
延岡市			1						
川南町				1					
高鍋町				1					
諸塚村							3		
椎葉村						1	10		
高千穂町				1					
合計	45	8	219	919	1,174	1,309	1,185	139	96,479

※各県のホームページ等の公表資料により、集計時点はそれぞれ異なる。

3 熊本県への支援状況

被害の大きい熊本県に対しては、次のとおり、発災直後から救命・救助活動を行うとともに、知事を本部長とする「支援対策本部」を設置し、全庁的な体制で、人的・物的な支援を行っている。特に、九州地方知事会の調整に基づき、本県が担当する阿蘇市を集中的に支援している。

(1) 救命・救助活動

- ① 県警察本部、警察災害派遣隊
4月14日から熊本県内で活動中。
- ② 緊急消防援助隊
4月15日から、県内19隊78名が益城町で倒壊家屋等の搜索活動。
現在、20隊83名体制で、益城町、嘉島町の被害状況や道路状況を確認中。
- ③ DMAT（災害派遣医療チーム）
4月15日に、熊本県の要請に基づき、県内DMAT11チームを熊本県赤十字病院に派遣し、医療活動開始、4月17日に活動終了。
- ④ 患者受入状況
4月16日に、熊本県から宮崎市内の医療機関に9名受け入れ。
4月20日に、1名追加受け入れ。
- ⑤ DPAT（災害派遣精神医療チーム）
熊本県からの要請に基づき、県立宮崎病院DPAT2チームが熊本県立こころの医療センター等で活動中。
- ⑥ 宮崎県防災救急ヘリコプター「あおぞら」
4月15日から18日まで出動し、患者の転院搬送、緊急消防援助隊員の搬送等を実施。

(2) 人的支援

- ① 保健師等の派遣
4月17日から保健師2名、事務職1名を阿蘇市に派遣。
- ② 情報連絡員の派遣
4月19日に県職員4名を阿蘇市に派遣。
4月20日から県職員2名を熊本県庁に派遣。
- ③ 避難所運営等要員の派遣
4月19日に、避難所運営等要員として、県職員15名を阿蘇市に派遣。
4月20日から50名に増員。
- ④ 被災建築物応急危険度判定士の派遣
4月21日に4名（県と宮崎市、都城市、延岡市、日向市職員から選定）を熊本県に派遣。
- ⑤ 医療支援要員の派遣
4月21日から5名（県立病院の医師、看護師、薬剤師等）を熊本県に派遣。

(3) 物的支援

- ① 救援物資の提供
4月17日に、熊本県の要請に基づき、県が備蓄している救援物資（飲料水、非常食、生活用品等）を提供（熊本県高森町役場に運搬）。
- ② 住宅支援
公営住宅（県営住宅160戸、市町村営住宅435戸、計595戸）について、4月19日に被災者への提供受付開始。

